

2024年3月27日
第一工業製薬株式会社

2024年3月期第3四半期 決算説明会 主な質疑応答
(開催日：2024年2月21日 場所：当社東京本社セミナールーム(リアル&WEB 配信))

Q1：第2Qから第3Qにかけて業績が急激に回復した要因は何か。

A1：販売数量が緩やかに回復している。但し、製品によって回復が著しいものとそうでないものがあり、全体的に見ればコロナ禍以前の状態までは回復していない。また、ハイエンドサーバ向けの需要が旺盛となり、足元では増加傾向にある。値上げ活動による価格転嫁も進み、難燃剤の市況悪化も改善してきている。

Q2：ハイエンドサーバ向けの販売が増えているとのことだが、第4Qは更に増えるということか。来期に向けて、どれくらい増加する予定か。

A2：具体的な数値を示すのは難しいが、増加する方向である。但し、以前の5G基地局の時のように急に需要が低迷する可能性も否定できないため、楽観視はしていない。

Q3：来期の見通し達成にあたって、伸びてくる用途や製品について教えてほしい。

A3：半導体周辺の有機アルカリ洗浄剤は、市況悪化の影響で現在販売は低迷しているが、来期以降に伸びてくる予定である。また、難燃剤の市況回復による影響額も大きいと見ている。

Q4：インフラ(鉄道)の大型プロジェクトは、今後、伸びてくる要素はあるのか。

A4：需要を期待される工区については進んでいないが、それ以外の地域では徐々に進行しており、当社品の出荷も進んでいる。また、老朽化したトンネルの修復を中心に販売を伸ばしている。

Q5：難燃剤の市況悪化の背景および今後の見通しについて教えて欲しい。

A5：中国市場の市況悪化、国内の住宅関係を中心に状況は良くない。今後、緩やかにではあるが回復してくると見ている。

以上